

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
スーパー演習 公民	2	3年2類	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
小林 幸夫	改訂版 政治経済 (数研出版)	最新 政治経済資料集 2018 (第一学習社)	

科目の到達目標
政治・経済のセンター試験対策として、問題演習を通して要点の整理を行い、各自の課題を見つけて克服し、実践的な問題に対応できることを目指す。

評価の観点と方法について
期末考査を行う。適宜ノート・プリント等の提出・チェックを行う。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	国民経済と国際経済	時事的内容も盛り込み、現在の国内・国際経済の動きについて理解する。	国際経済の課題と国際協力	ノート提出 期末考査
	5			<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境と資源エネルギー問題 ・発展途上国の経済と経済協力 ・国際経済における日本 ・人口問題と食糧問題 国際経済の動向 <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済のしくみ ・貿易と国際収支 	
	6	現代経済のしくみと特質	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業と農業・食料 ・公害防止と環境保全 ・消費者問題と消費者保護 ・労使関係と労働市場 ・少子高齢社会と社会保障 		
	7				

	月				
二 学 期	9	政治分野の復習・実践問題演習	問題演習を通して経済範囲の復習と要点の整理を行い、各自の学習課題の発見につなげる。	プリント教材を使った政治分野の復習、およびセンター過去問等の実践問題演習・解説	ノートまたは課題提出 期末考査
	10				
	11			プリント教材を使った政治・経済分野の実践問題演習・解説	
	12				期末考査
三 学 期	1				期末考査

その他（ 大学等進学のための学習など ）

センター試験を倫理・政経で受験する生徒に対し、倫理分野等についての対策を行う。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
スーパー演習 (数学)	2	3年・2類・理型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
仁尾 多市良	数学Ⅲ (東京書籍)	クリアー 数学Ⅲ (数研出版)	

科目の到達目標
極限、微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技術の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
教科書、問題集、小テストなどのプリント等で、基本演習および実践演習を繰り返しながら、応用力、実践力をつけ、大学入試に対応できる学力を養成する。

評価の観点と方法について
平素の学習意欲や学習態度を重要視し、数学的問題解決能力を小テスト、課題テスト、課題ノート等で確認する。
定期考査・課題テスト・小テストの各成績、課題ノートの提出および内容、授業態度から総合的に評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	3章 関数と極限	無限級数の和について理解し、その和を求めることができる。 関数の極限の性質を理解する。	数学Ⅲの授業と並行して行うので、3年・2類の数学Ⅲのシラバスも参照してほしい。講義形式の授業、プリントを用いた小テスト、演習を行う。 小テストは各章ごとに20回程度、教科書で学習した問題を中心に行う。 演習は各章または各節の学習が終了するごとに行う。	無限級数の和を求めることができるか。 様々な関数の連続性、不連続性を判定することができるか。
		2節 数列の極限			
		3節 関数の極限			
		4章 微分			
	5	1節 微分法	導関数の定義、積・商の導関数、合成関数や逆関数の微分について理解し、様々な関数の導関数を求めることができる。	問題を中心に行う。	三角、指数、対数関数を含む種々の関数の導関数が求められるか。
		2節 いろいろな関数の導関数			
	6	5章 微分の応用	平均値の定理について理解する。関数の増減や凹凸を調べられるようになり、それを利用してグラフをかくことができる。 いろいろな関数を積分することができるようになる。	問題を中心に行う。	接線や法線の方程式が求められるか。 曲線のグラフを導関数を利用してかくことができるか。 置換および部分積分が使える。 定積分においても、置換積分と部分積分が利用できる、その利
		1節 接線、関数の増減			
		2節 微分の			
		いろいろな応用			
6章 積分とその応用					
1節 不定積分					
2節 定積分					
	3節 面積・体積・長さ	基本的な考え方を利用して、			

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
スーパー演習	2	3年・2類	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
新 誠一	FINAL STEP (いっずな書店)		入試の過去問、模試プリント等

科目の到達目標
既習の基本的英文法の復習を行い、実際に英文を解いていく中で確認を行っていく。基本事項を徹底するとともに、模試の過去問題を解くことで応用力を養成していく。

評価の観点と方法について
定期考査と平常点（小テスト、宿題やプリント等への取り組み・提出状況、授業態度等）を加味して総合的に判断する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	Lesson1	各単元で学習する文法項目で復習をし、入試に対応できる基礎学力の定着を徹底的に目指す。	定着度を確実なものとするために、英語表現で学んでいる内容と関連させて学習していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復習がなされているか。 ・ ポイントを理解し、運用できるようになったか。
		Lesson2			
		Lesson3			
		Lesson4			
		Lesson5			
	5	Lesson6			
		Lesson7			
		Lesson8			
		Lesson9			
		Lesson10			
7	<期末考査>				

	月	学習单元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson11			
		Lesson12			
		Lesson13			
		Lesson14			
	10	Lesson15			
		入試問題等の演習			
	11				
	12	<期末考査>			
三 学 期	1	入試問題等の演習			
	2	<学年末考査>			
	3				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

1・2年次に学習した文法事項が基本となります。数多くの文法問題・英文に触れ、運用能力を身につけましょう。辞書を引き、UPGRADEで復習することを継続させてください。受験に向けて、「正答率50%の問題」をしっかりと解けるように、この1年間頑張りましょう。